

おおぞら 議会だより

CONTENTS

12月定例会を開催	2
議員5名が一般質問	4
①大泉議員 全国学力テスト結果の課題と今後の対応について	
②上地議員 自治会の存続について	
③鈴木議員 地域環境と調和した再生可能エネルギー発電について ほか	
④森賀議員 教育施設の利用について	
⑤川村議員 大空町内の除雪について	
議会報告会を開催	10
視察調査を実施	12


No.75
OZORA
GIKAI DAYORI

[発行日]

令和7年(2025年)2月28日


大空に
人花心
育まると

「令和6年度議会報告会・
町民との意見交流会」を
開催しました。





令和6年 12月定例会 藻琴山の水を女満別に！ 網走市から原水の供給を受ける協議

定例会

公の施設の区域外設置及び網走市の公の施設を利用することに関する協議

水道施設の共同化により網走市から原水の供給を受け、女満別地区の水質改善及び相互の経営効率化を図るため、女満別地区への連絡管整備に関する協議について審議し、可決しました。

事業計画について

土地議員

問 負担金、概算事業費、供用開始予定など、どのような計画で進めていくのか伺う。

建設課 連絡管の整備として約13億円、浄水場の改造として約3億円程度を見込んでいます。また、網走市への負担金について、計画流量比で、網走市が1日あたりの水量1万立米、大空町1,000立米となり、11分の1が大空町の負担、約9%程度になります。網走市へ支払う負担金について、今後20年間の平均として、年間約360万円の見込みです。

供用開始の時期について、不確定要素はありますが、令和12年度供用開始を目標としています。令和7年度、女満別地区の水道事業認可の変更。2年程度かけ実施設計。平行して管路の整備工事を3年程度で仕上げ、最短期で令和12年を目標に進めたいと考えています。

昭和浄水場改修について

岩原議員

問 浄水場の改修、既存の井戸から汲み上げた部分の処理について伺う。

建設課 昭和浄水場は、平成15年から施設。平成15年に増設した施設の2系統に分かれており、そのうち古い側、平成元年建設部分を完全に停止し、平成15年に増設した施設については、今後使っていく予定です。



昭和浄水場

等を減らしていけば、1日あたり約300立米減り、今後の人口減少等を考えると最終的には約1,000立米と見込んでいます。それまでの間、網走市から来る水と昭和浄水場の新しい施設で作っている水については、併用して使うことになりました。

工事請負契約の変更

豊郷橋の橋梁補修工事の工事請負金額の変更に ついて可決しました。

指定管理者の指定

公共施設の維持管理を行う指定管理者の指定について可決しました。

管理施設の名称	指定管理者	指定管理(委託)期間
大空町東藻琴診療所	医療法人社団 双心会	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで
大空町女満別研修会館 大空町女満別ゲートボールセンター	一般財団法人大空町青少年育成協会	令和7年4月1日から令和10年3月31日まで

補正予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、介護サービス事業特別会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計の補正予算について審議し、可決しました。

高齢者等移動支援事業

鈴木議員

問 外出支援タクシーを利用しやすくした制度改正の利用状況について伺う。

福祉課長 10月分までの利用実績が対前年比で45%増加しています。

児童センター児童クラブ等管理運営費

後藤議員

問 照明のLED化について、検討しているのか伺う。

福祉課長 照明LED化について、約230万円かかるため、施設の大規模改修の際に検討したいと思います。

多目的運動広場管理費

鈴木議員

問 手押し式芝刈機114万円減額し、乗用芝刈機を新たに購入することについて、受注生産で、繰越明許費の設定をし、乗用芝刈機を381万円で整備する経過について伺う。

生涯学習 東藻琴多目的運動広場のパークゴルフ場のグリーン及びフェアウェイ用を使用している手押し式芝刈機は平成5年式で老朽化しており、当初予算で機械更新のため114万円計上していましたが、

当該芝刈機については受注生産で、規定の台数になった場合に生産をするという話でしたが、既定の台数に達せず、今後の製造を中止することが分かりました。そのため現在生産を予定している芝刈機は乗用型の三連アプローチモアで、当初の手押し式芝刈機の予算を減額し、新たに乗用型芝刈機の予算を計上させていただきます。

なお、補正で計上させ

ていただいた芝刈機についても発注から納品まで6か月かかるため、今年度中に予算計上し、繰越明許費を設定させていただくことで、早い段階からの契約行為を行い、来シーズンに間に合うよう対応したいと考えています。

要望意見書

「将来に希望が持てる次期基本計画の改訂と現場に寄り添った農業政策の実現を求める要望意見書」について可決しました。

補正予算(歳出)の主な内訳

事業名	補正額
職員給与費(給料・職員手当等)	2,804万円
認定こども園施設型給付費	2,802万円
備品購入費(タブレット)	※ 308万円
備品購入費(乗用芝刈機)	267万円
大空高校交流拠点施設給湯設備増設工事	234万円

例月出納検査報告

8月から10月までの現金の出納状況および基金の状況について、検査結果の報告がありました。



タブレット端末等導入検討小委員会において、検討を進めてきました。今後の議会運営において活用し、会議におけるペーパーレス化の取り組みを進めます。

YouTubeのQRコードはこちら



令和6年 11月臨時会 11月25日 一般会計予算に 1,554万円追加補正 補正予算について審議

補正予算

冬季生活支援事業、スキー場管理業務委託料、照明LED化工事など一般会計の補正予算について審議し、可決しました。

スキー場管理業務委託料

鈴木議員

問 スキー場の照明LED化について、年次計画の更新対応なのか、一時的な修繕なのか伺う。

生涯学習課 10月に実施したスキー場の夜間照明の点検において、斜面上側3灯の照明のうち、頂上付近の照明に異常が確認され、水銀灯の安定器が故障していることが分かりました。水銀灯の灯火に必要な安定器は現在生産されていないため、故障が確認された投光器についてLED化による改修を行います。

なお、ほかの照明の安定器に異常は確認されていませんが、財政状況を踏まえながら、計画的にLED化に更新をしてい

きたいと考えています。

問 ロープリフトの頂上降場付近の照明が暗く、安全確認に苦労している状況を現場から確認しているのか伺う。

生涯学習課 スキー協会代表との協議の中で、夜間のロープ塔運行管理において、中腹部の明るさが足りず管理棟から見えにくいので、照明追加設置要望をいただいています。安全確保の観点から北側の照明の追加についても検討を進める必要があると思っております。



白かば台スキー場



自治会の存続について

うえち ふみたか
上地 史隆 議員



上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(35分18秒から)

私の自治会も、人口減や高齢化で役員の成り手がいないため、活動が減っています。今後も課題に真剣に向き合わなければいけないと考えています…

町長 町内の自治会数は48自治会です。活動については、道路や駅前周辺、河川などの環境美化、花いっぱい運動、交通安全や防犯、防災、スポーツやレクリエーションの交流、高齢者、女性、青少年の活動をしています。少子高齢化の影響や自治会への加入者の減、役員の担い手不足などの課題もあり、11月16

問 自治会では地域コミュニティの中核として、高齢者、障がい者、子供の見守り、集会施設の管理、環境美化、清掃活動、防災、防火、防犯、交通安全、行事など、様々な地域の取り組みを担ってきたが、全国的に人口減少や少子高齢化、生活スタイルの多様化などにより、自治会に加入する人が減っており、担い手不足、活動減少による地縁の希薄化など、存続自体が危惧されているが、現状について伺う。

問 令和4年4月総務省の地域コミュニティに関する研究報告書で、課題としては自治会のDXが遅れており、高齢者の方は不慣れな方が多いと、連絡だけでもDXを図るといったことは、災害時の早期の連絡調整にも使える。感染症対策の一環としても今後積極的に活用していかねばいけない。自治体によ

課長 自治会加入率は、現在で74.8%となっています。町としては引き続き、自治会連合会と連携を図り、課題解決に向け支援をしたい。

町長 町から発信するイベントや行事などのお知らせは、ホームページやそらナビを活用し、情報提供を行っています。自治会内での運用については、自治会内で検討いただくものと考えています。先ほど話にありました研修会でもSNSを活用した提案もあり、早速活用を検討している

問 各家庭での学習時間や習い事の時間について、把握しているのか伺う。

問 網走市の町内連合会が10年ぶりにアンケートを行い、会員の高齢化、役員の成り手がいない、参加人数が集まらない、などの理由から過去3年のうち8自治会が解散したことも出ており、私たちの町も世帯数が少ない

問 平均正答率より学力が下回っている児童生徒に対する対応について伺う。

町長 大空町発足当初から自治会の再編については、様々な機会において協議させていただきました。合併については、意思がある自治体からご相談があれば、一緒に考えています。



錦町第一自治会 防災勉強会



全国学力テスト結果の課題と今後の対応について

おおいずみ ともりのり
大泉 知功 議員



大泉議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(15分50秒から)

「やればできる」私の好きな言葉の1つです。ある芸人さんの売り文句と記憶がありますが、皆さんも、本当にそう思いませんか？

問 思考や判断、表現力を問う問題や記述式の問題で課題があると、オホーツク教育局も分析されている中で、対応等を講じているか伺う。

問 規則正しい生活リズムを身につける事について、どのような

問 各家庭での学習時間や習い事の時間について、把握しているのか伺う。

問 平均正答率より学力が下回っている児童生徒に対する対応について伺う。

教員 授業改善といった、学校による教育実践の積み重ねや、教職員の研修、補助教員の配置など、きめ細やかな指導の為に大空町独自の教育支援策を推進し、北海道教育委員会が全道の調査結果を踏まえて示された教育改革の方向性と実践事例も参考にし、適宜改善を図っていきたい。

教員 子供たち一人一人の確かな学力と体力の定着を目指した大空町学力体向上プランを策定し、各学校と家庭が連携協働した取り組みを推進しています。保護者の皆さんへご家庭でお願いしたいこととして、家庭での学習習慣を身につけるため、親子で学ぶ機会を作り、早寝早起き朝ごはんの規則正しい生活習慣の定着に努める。テレビ、ゲームの時間やインターネットの使い方などのルールを決めるなど、11項目を掲げ、教育委員会としても、積極的な啓発活動に努めています。

教員 習い事についての調査項目はなく、各学校でも特段児童生徒への調査等は行っていません。教育委員会としても把握は出来ていません。教育委員会としては、これらの学校での取り組みのほか、家庭学習の質を高め、子供たちの学習、生活改善が図られ、小・中学校で切れ目のない一貫した指導ができるよう推進していきたいと考えています。

教員 調査項目はなく、各学校でも特段児童生徒への調査等は行っていません。教育委員会としても把握は出来ていません。教育委員会としては、これらの学校での取り組みのほか、家庭学習の質を高め、子供たちの学習、生活改善が図られ、小・中学校で切れ目のない一貫した指導ができるよう推進していきたいと考えています。



学力テスト (イメージ)

タブレット端末にインストールしている学習ドリルソフトは、学校以外で、各家庭にて個々の力に応じて取り組むことが出来、学力定着に有効に活用されていると考えています。教育委員会としては、これらの学校での取り組みのほか、家庭学習の質を高め、子供たちの学習、生活改善が図られ、小・中学校で切れ目のない一貫した指導ができるよう推進していきたいと考えています。

結果をどのように受け止めていますか 教育長 調査結果を踏まえ適宜改善等図っていききたい

問 今年度の結果についてどのよう

ホーツク教育局の分析通りの傾向が見られました。小学校の国語・算数の正答率が高く、日常的に自分の考えをノートにまとめたりする各活動を重視し、ノートづくりを継続的に実施してきた成果が結果に結びついたと考えています。

教員 子供たち一人一人の確かな学力と体力の定着を目指した大空町学力体向上プランを策定し、各学校と家庭が連携協働した取り組みを推進しています。保護者の皆さんへご家庭でお願いしたいこととして、家庭での学習習慣を身につけるため、親子で学ぶ機会を作り、早寝早起き朝ごはんの規則正しい生活習慣の定着に努める。テレビ、ゲームの時間やインターネットの使い方などのルールを決めるなど、11項目を掲げ、教育委員会としても、積極的な啓発活動に努めています。

教員 調査項目はなく、各学校でも特段児童生徒への調査等は行っていません。教育委員会としても把握は出来ていません。教育委員会としては、これらの学校での取り組みのほか、家庭学習の質を高め、子供たちの学習、生活改善が図られ、小・中学校で切れ目のない一貫した指導ができるよう推進していきたいと考えています。

郷土資料、文化財資料の保存活用について

ふるさとに伝わる知恵と経験を未来へ

教育長▶郷土資料展示施設の集約化を検討



郷土資料室

教育長 女満別研修会館では、第1資料室には農機具や大型の民具、歴史的な書籍や各種文献資料、第2資料室に北海道の文化財指定を受けた女満別石刃続遺跡出土資料を展示保存しています。施設の老朽化から慢性的な雨漏りが生じており、第1資料室資料の保存状況が極めて悪化し、令和5年以降、当該資料室を

問 未来志向のまちづくりを進める上では、歴史に学ぶふるさとに伝わる知恵と経験を未来のまちづくりに生かしていく必要がある。町民から寄贈いただいた開拓当時の生活文化、産業活動等に関する資料は、郷土の貴重な財産である。現在、郷土資料、文化財資料が展示、保管されている各施設は、老朽等課題を抱えている状況である。施設の建て替え構想のある女満別研修会館資料室の収蔵資料の管理、取扱い方針を早期に策定する必要があると思うが見解を伺う。



ハッカ蒸留窯

山園ふるさとセンターは農機具や民具を保存していますが、一般開放は行っていません。

閉鎖しています。保存状況が悪くなった民具等については、文化財保護審議会に諮り、整理したいと考えています。町内での郷土資料の展示については、令和3年にオープンした東藻琴生涯学習センター郷土資料室の1階に大空町の自然や交通の歴史、まちづくりの歴史を写真やパネルを使って紹介し、2階は考古学的資料室として町内遺跡で発掘された石器、土器の復元模型等を展示しています。東藻琴ふるさと資料館には、ハッカ蒸留窯や馬具などの農機具、小型の民具を展示保存しています。

問 現在、研修会館施設整備計画を検討中と認識しているが、現研修会館資料室との関係及び開拓資料展示保存に関する検討状況を伺う。

教育長 担当職員は、学芸員の資格を有する専門職ではなく一般職員が業務を担当しています。本町の郷土史団体は、大空町郷土歴史文化保護会があり、郷土史の調査や資料の収集など、郷土文化の向上のために活躍されており、補助金を交付して活動を支援するともに連携を図っています。大空町文化財保護審議会の9名の委員のうち6名が保護会の会員で、保護会の意見等も審議に反映されていると認識しています。

問 地域おこし協力隊制度を活用して学芸員が郷土資料館において収蔵品の整理や展示の

教育長 令和5年度から社教育施設基本構想の策定に関する業務を進め、今年度は基本構想の素案内容について意見を集約してきました。文化財や郷土資料の展示施設の集約化と保存施設の確保について、一定の方向性を出す必要があるため、今後も教育委員会及び議会に適宜相談し進めていきます。



生涯学習センター郷土資料室

問 収蔵資料の取扱いについては、教育施設として専門的な人が必要だと思えます。人の確保についての教育長の見解を伺う。

地球地域環境と調和した、再生可能エネルギー発電について

鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。

将来展望を明確にし、未来志向のまちづくりを進める観点から質問しました。

町長 令和6年第1回議会定例会でゼロカーボン宣言後、関係企業、団体から、本町での事業展開について関心が高まっています。住み続けたいまちづくりのために、環境と調和した再生可能エネルギー発電推進に関する町民合意の基本的確認事項を条例として規定しておく必要があると思うが見解を伺う。

問 太陽光発電施設が本町でも増加しています。さらに、藻琴山麓地域に風力発電施設設置に関する調査の問合せがあったとも聞きました。令和4年12月に、環境と調和した太陽光発電の推進について質問した際には、現状を確認し、地域住民の意見を聞き、条例制定の必要性を内部検討していくと答弁がありました。大空町がゼロカーボンシティ宣言後、関係企業、団体から、本町での事業展開について関心が高まっています。住み続けたいまちづくりのために、環境と調和した再生可能エネルギー発電推進に関する町民合意の基本的確認事項を条例として規定しておく必要があると思うが見解を伺う。

推進にむけた基本的確認事項の制定を町長▶地域との調和を基本に検討を進める

令和5年度以降、発電事業関係企業等数社から長期の再生可能エネルギーのポテンシャル活用による地球温暖化対策、地域経済活性化、地域雇用創出、地域課題解決に貢

一ポテンシャルを宣言しました。2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ達成するには、行政だけではなく、町民、事業者の取組が不可欠で、現在、地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定中です。環境省の地域経済循環分析では、本町の再生可能エネルギーのポテンシャルは、地域で使用しているエネルギーの約21倍ですが、利用可能方法は未把握です。将来ビジョン、ゼロカーボンに向けてのシナリオ作り、太陽光、風力、バイオマス、温泉熱、水力等の再生可能エネルギーのポテンシャルを把握して利用可能性を探っていきます。令和5年度以降、発電事業関係企業等数社から長期の再生可能エネルギーのポテンシャル活用による地球温暖化対策、地域経済活性化、地域雇用創出、地域課題解決に貢

町民や事業者との協力を深めながら、地域社会への貢献と温室効果ガス削減を実現する再生可能エネルギー事業を推進する考えです。

再生可能エネルギー発電施設設置に関する条例は、国や北海道の環境配慮基準等と先行自治体の条例等を参考に検討を進めています。条例には、設置や管理の基準、災害防止、自然環境保護、撤退時の適切な措置を規定する方針です。町民や事業者との協力を深めながら、地域社会への貢献と温室効果ガス削減を実現する再生可能エネルギー事業を推進する考えです。

風力や太陽光発電も含め、環境・自然・景観を守りつつ、適切な場所での事業を進める姿勢を示していきたいと思えます。

町長 再生可能エネルギーの推進は、環境との調和が重要であり、令和7年度に向けて、条例を検討中ですが、推進区域と除外区域を明確にし、地滑りや急傾斜地、土砂災害の懸念がある場所、文化財保護区域、鳥獣法に関連する地域は除外し、水源地の藻琴山などはしっかりと守っていく方針です。



東藻琴生活支援ハウス悠久の里ソーラーシステム

町長 パブリックコメント等の実施のほか、大空町ゼロカーボン推進委員会に諮って意見を伺っています。

問 条例制定にあたり、二酸化炭素を排出しない対応も重要で地域の方々の理解を進めると共に町民の意見を聞く場の設定について伺う。



大空町内の除雪について

かわむら じゅん 川村 淳 議員



川村議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(2時間1分25秒から)

人口減少を見据えた中で、生活に直結する除雪の課題について、今から考えていく必要があるため質問しました。

町長 賃金というのは一番重要な要素であるとの認識は持っています。町としても今後安全な道路を維持していくため、持続可能な体制の確保をしていくためには、

問 単純に人員を確保するとう部分については、賃金を上げるなどの対策しかないのかなと考えていますが、どのように考えているのか

町長 除雪作業を担っていただける方はいないか情報を集めることも、人材が見つければ積極的に採用し、技術継承など人材育成を進めていきたいと考えています。

問 高齢化により除雪に対応する人材の確保は非常に難しくなっていると感じています。町としてどのように考えているのか

問 公共施設や指定管理に出している

町長 今年度開発が行う国道の道路整備事業でDXを活用した運転士だけで除雪が出来ないかという実証実験を行うように聞いています。今1台2名体制で行っている除雪を1名で行えるような、この人口減少の中にあつて、今後を見据えしっかりと検討しながら今後も進めてまいりたいと考えています。

問 夜中や悪天候での危険を伴う作業を行っていますので、それに伴う対価は必要であり重要な魅力であると考えます。近隣の状況を踏まえて十分に検討していただきたいと思います。

賃金というところもしっかりと考えていかなければならないと考えています。

問 民間企業も役場もどちらも対応出来ない

町長 公共施設の除雪は、指定管理者自ら建設業者等の民間に委託している箇所が多数あるものと思います。今後、民間において人員不足等により、除雪の委託が出来ないとなれば、各施設の職員が対応するほか、職員で対応出来ない場合には、役場の直営で実施していかなければならないものと考えています。

町長 民間企業との協力の体制の構築というののも一つの解決策であるのかなとは思っています。過去に建設業協会で作って頂いた総合管理協同組合というところに指定管理をして行ってきた経過があります。新たに民間企業と協力関係が構築できるのかそういったことも検討し、実現可能なところから取り組みを進めてまいりたいと考えています。

設、道の駅等の除雪は町内の業者が現在直接請け負って行っている状況ですが、高齢化によって除雪を受けることが出来ないうような状況も出ています。町民の生活に直接的に影響が出ると考えると町としても対応をどのように考えているのか

町長 民間企業との協力の体制の構築というののも一つの解決策であるのかなとは思っています。過去に建設業協会で作って頂いた総合管理協同組合というところに指定管理をして行ってきた経過があります。新たに民間企業と協力関係が構築できるのかそういったことも検討し、実現可能なところから取り組みを進めてまいりたいと考えています。

町長 民間企業には機械や労働力も備えています。こういったリソースをうまく活用することが、問題解決につながるのではないかなと考えています。

町長 民間企業には機械や労働力も備えています。こういったリソースをうまく活用することが、問題解決につながるのではないかなと考えています。



除雪作業の様子

将来の除雪体制の確保について 町長▼民間企業との連携も協議し体制強化を検討

教育施設の利用について

もりか ゆうじ 森賀 祐司 議員



森賀議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(45分28秒から)

プロトオオゾラの提言が実現されることを望みます。

教育長 両施設に係る今後の利用方法、方針について、現段階の教育委員会としては、大空高校女満別キャンパスにつ

町長 本年9月21日、22日の2日間、豊住交流センターにおいてプロトオオゾラで政策提言いただきました。大空、遊ぶ、学ぶと廃校ホテルを掛け合わせたイベントを実施実験として実施しました。参加いただいた皆様からは大変楽しいイベントであったとの評価をいただきました。今回の実証実験で発見出来た課題等も複数あり課題を十分に精査し、次のステップにつなげていく必要があると考えています。

まちづくり推進室長 プロトオオゾラの実証実験には8名の方にご参加をいただきました。ブッシュクラフト体験や校舎での宿泊や校庭でのバーベキューなど高校生が中心となって考えたプログラムに参加していただきました。

生涯学習課長 女満別キャンパスについては、令和3年度から学校開放事業として、大空町空手道協会、大空町剣道連盟、女満別龍舞隊、大空リトル

シニアがそれぞれ利用いただいています。不定期の利用団体として大空陸上競技協会、女満別野球少年団、女満別及び東藻琴中学校両野球部並びに大空町盆踊り保存会の練習等にご利用いただいています。7月26日には国内男子バレーボールリーグの北海道イエロースタースと東レアローズ静岡の両チームが、小中学校生への技術指導や親善試合にご利用いただいたところです。

生涯学習課長 豊住交流センターは、町民相互または町外者との交流、芸術文化及びスポーツの振興の拠点として位置づけた社会教育施設であり、地域コミュニティの拠点として利用していただいています。令和5年度の施設利用者は1,379名、そのうち1,375名がアリーナの利用です。総合型地域スポ

ツクラブの活動として、豊住バドミントン少年団の練習、不定期ながら卓球にも使われています。例年9月に行われる豊住ふるさと祭りの際は、地域の方が主体となって施設全体を利用しています。

町長 関係人口の創出、拡大の取り組みについては、大空町の認知度向上、移住定住の促進、そしてその先には、消滅可能性自治体からの脱却という大きな課題解決につながる重要な取組であると認識しています。プロトオオゾラの提言にあった廃校ホテルについては、実現は正直なかなか厳しいと思いますが、大空町の物的、人的資源を幅広く活用し、関係人口の創出拡大に向けた取

問 プロトオオゾラの実証実験の検証をふまえて次のステップへ

町長 豊住交流センターの保守管理の考えについて伺う。

教育長 豊住交流センターの利用状況については、担当の説明にもあつたとおり、その多くがアリーナ利用者であることから、体育館の修復工事を先行して行うなど、財政負担の平準化を図りながら、町長部局とも協議しながら利用者の支障にならないよう努めてまいりたいと思っております。

問 豊住交流センターの保守管理の考えについて伺う。

町長 民間企業には機械や労働力も備えています。こういったリソースをうまく活用することが、問題解決につながるのではないかなと考えています。

町長 民間企業には機械や労働力も備えています。こういったリソースをうまく活用することが、問題解決につながるのではないかなと考えています。

町長 民間企業には機械や労働力も備えています。こういったリソースをうまく活用することが、問題解決につながるのではないかなと考えています。

町長 民間企業には機械や労働力も備えています。こういったリソースをうまく活用することが、問題解決につながるのではないかなと考えています。



豊住交流センター 廃校ホテル実証実験



実証実験

元教育施設の今後の利用について 町長▼プロトオオゾラの実証実験をふまえて次のステップへ

一般質問

一般質問

議会報告会・町民との意見交流会を開催



大空町議会の活動内容を報告するとともに、町民の皆さんと「まちづくり」について語り合う『令和6年度 議会報告会・町民との意見交流会』を1月25日に開催しました。
50名の方の参加をいただき、たくさんのご意見をいただきましたので、主な内容をお知らせします。

主な質問・意見等	議会側の回答
●網走方面の学校の通学バスの助成をいただいているが、親の負担は総額になると結構な額になり、大変だという話を聞いている。助成額の増額をお願いしたい。	◆通学バスの助成については、実際に利用されている方の要望を確認していきたいと思います。
●教育文化会館の照明について、トイレと駐車場があるほうから来るところが、特に公演等が終わって帰る時、足元が見えないような状況になっている。何とか明るくしていただきたい。	◆町のほうに申し入れをします。
●殺傷事件の報道を多く見かける。町内での事件防止のため、町の公共施設に防犯カメラを設置出来ないか。	◆町でも防犯カメラを設置しています。特に学校付近には、防犯カメラをつけています。年度ごとに台数を増やしていますが、町に申し入れたいと思います。
●認定こども園ひがしもことの定員に対して人数が少ないという話があったが、二つの認定こども園が一つで賄える人数になった場合、今後のことはどう考えるのか。	◆他町村から一定期間預かる保育園留学制度を道内でも行っている町があるので、参考にしながら、今後検討していきたいと思います。
●小学校、中学校含めて、女満別、東藻琴と区域はあるが、認定こども園については、女満別は定員オーバーしている。東藻琴が足りないのであれば、例えば開陽など、女満別の東藻琴に近い地域の人たちに、東藻琴に来ていただければ、同じ大空町の中での調整ができるのではないかと思う。	◆認定こども園については、女満別地区から東藻琴に通っている方もいるようです。今後検討していく課題ということでご理解いただきたいと思います。
●東藻琴芝桜公園の大規模改修について、地域おこし協力隊の制度等を利用して、専門の人を採用していただくことが出来ないか。	◆地域おこし協力隊の制度を上手く利用するよう、町のほうに申し入れをしていきたいと思います。
●東藻琴芝桜公園について、コンサルにお任せすると、コンサルなりの回答しか出てこない。議会も住民も、中間報告を聞いて意見を述べる場を作っていただきたい。年中通して使える芝桜公園にしていきたいので、議会としても検討してください。	◆町民の皆さんの意見もお聞かせをいただきながら進めていきたいと思います。
●東藻琴芝桜公園の大規模改修について、どのような改修になるのか。決まっている範囲で教えていただきたい。	◆これから町民の方たちの意見を聞く機会を設けて、詰めていく段階になります。若い人たちの意見を聞きたいので、説明会にぜひ参加していただければと思います。
●芝桜まつりが開催されている時期は、観光客が入って賑わっているが、まつりが終わった途端、人がいなくなって閑散としている。網走市のてんとらんどのような施設があれば、子どもを連れて利用したい。	

主な質問・意見等	議会側の回答
●廃棄物中間処理施設について、大空町が1回候補地から抜けると聞いている。	◆1市4町で12月末までに候補地を出してくださいとなりました。
●次の世代や町のために、大変重要な事業だと思っている。後退することなく進めるように議会もバックアップしていただければ。	◆その中で、どこも候補地が出せなくて、今回新たな話の中では、1市5町それぞれが町有地を出すことになりました。今度は第三者を入れた検討委員会で廃棄物中間処理施設の候補地について検討し、決定していくと聞いています。
●1市5町で計画されていた廃棄物中間処理施設が白紙撤回されてしまった。町民が理解できる説明や調査結果を報告してもらいたい。	◆今回、白紙撤回に至った経緯についての検証をするという報告を受けています。今後の検証委員会の中で報告が出ると思います。
●人口減少問題について、全国的に男子の未婚率が3割を超えている。農家の後継者も未婚が多い傾向にあり、農家戸数の減少の要因にもなりかねない。議会はどういう考えを持っているかお聞きしたい。	◆農家戸数を維持していくことが町にとって重要だと思います。
●女満別から東藻琴に行く際、日進から稲富線に抜けて東藻琴に入るT字路がある。東藻琴から女満別に帰るときに、電気の付いた看板があるけど、看板と交差点の距離が近過ぎて、通り過ぎてしまう。夜危ないので、街灯があったほうがいいのかと思う。	◆道が分かりにくいので、女満別から来たときの真っすぐ前の看板と東藻琴から行ったときの左折の看板を町で設置したが、網走市の区域であるため、十分に検討していきたいと思います。
●飲食業が繁栄すれば、町全体が潤うと言われているが、タクシーは7時半で終わってしまう。75歳以上にはタクシー券を交付している。せっかくタクシー券を交付しているのであれば、活用できる時間帯に乗車できるよう調整をとれないか。	◆町のほうにも意見としてお伝えしたいと思います。
●外出支援タクシー券が1枚3,000円では使いにくい。1枚1,000円や500円にしてくれたら使いやすい。	◆使いやすいタクシー券にしていくことが大切ですので、十分協議させていただきます。
●子供たちが一生懸命頑張って、全道大会なりに上がったときに、町の対応はどうなっているのか。勝ち進んだときに、勝って喜ぶ親と、勝って喜ばない親がいる。遠征費がかかるから。結果を残した子供たちに対しては、町もしっかり応援してもらいたい。	◆スポーツ協会に全道大会出場の際、要件を満たすと補助金をもらえます。1泊や2泊、夏休みや休日期間であれば、スクールバスを全道大会に使わせていただくこともあります。
●若い人に集まってもらって、大空町をどうしていくのがいいのかということをやれば、この意見交流会もより有効になるのではないか。	◆負担が減るような方法を検討していきたいと思います。 ◆若い方の意見も大切にして進めていくことが大事だと思います。 ◆もしお気づきの点があれば、周りの議員に言っていただきたいと思います。



ボッシュ・グループ本社（横浜市都築区）

旧女満別空港跡地に自動車テストコースを開設し、自動車のブレーキシステムや横滑り防止装置の研究開発を行っているボッシュ・グループ日本本社が、2024年5月横浜市都築区に建設した新社屋を表敬訪問しました。

「女満別のテストコースで研究開発した結果が世界の交通事故低減に貢献している。」との説明を受けました。

ボッシュ・グループの事業はモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジー等の事業を展開するグローバル企業で、社会貢献にも力を入れています。横浜市と包括連携協定を締結し、本社敷地内に都築区民文化センター（愛称：ボッシュホール）を建設し、にぎわいの創設、文化振興、次世代育成等地域活性化に取り組んでいます。

大空町においても、地域とのふれあい交流事業を推進し、相互理解と協力関係を深める機会づくりに向けた情報交流を行うことが出来ました。

「行政視察調査を終えての所感」

議会改革の取り組みについて、今後議会基本条例の評価・検証を行い、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。

～議員と懇談しませんか～

大空町議会では、より多くの町民から意見を聴き、町民と議会の関係をより近づけられるよう、議会報告会のほか、団体や任意のグループ、次世代の担い手などを対象とした懇談会の開催に取り組んでいます。

議会から各団体等へ、各団体等から議会へ懇談会開催の申込みを行うことができ、議会から参加する議員は3班編成とし、右の写真のとおりです。

各団体等で議員と懇談したいなど希望がありましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL (0152) 77-8106

1 班			
			
原本議長	松岡議員	森賀議員	大泉議員
2 班			
			
齋藤副議長	岩原議員	川村議員	
3 班			
			
上地議員	後藤議員	鈴木議員	福田議員

議会の傍聴はお気軽に!

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。お気軽に傍聴においでください。
- ◆YouTubeを活用し、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。

3月定例会は、**3月5日(水)**から開かれる予定です。



令和6年11月18日から21日

議会運営委員会行政視察報告

委員長 ^{うえち}上地 ^{ふみたか}史隆

～バイオエネルギーセンター、企業誘致の取り組み、議会改革の取り組み、ボッシュ・グループの取り組みについて視察～



町田市バイオエネルギーセンターの取り組みについて（東京都町田市）



首都圏初の乾式メタン発酵ごみ処理施設として2022年1月から供用開始し、熱回収施設（焼却施設）、ストーカ方式焼却炉258t/日（129t/日×2炉）、バイオガス化施設、乾式高温メタン発酵50t/日、不燃・粗大ごみ処理施設、機械・手選別47t/5hで、最新のプラント技術で、ごみを燃やして発生する蒸気や、ごみを発酵させて得られるバイオガスを利用した高効率発電を行い、温室効果ガスの削減を目指しています。

バイオガス化施設では、ごみの分別時にリチウム電池等の混入が問題となり、施設が休止状態でした。今後進める広域廃棄物処理施設の処理方式の審議における参考事例と認識しました。

企業誘致の取り組みについて（群馬県明和町）

埼玉、栃木、茨城、群馬の県境で首都圏からも60キロ圏に位置している立地条件を活用し、企業誘致を積極的に展開している群馬県明和町を視察しました。

企業誘致活動は土地開発公社を設置し、土地の確保と企業誘致の情報収集と町の情報発信を一体化して取り組みました。

大型商業施設誘致の経緯は、道路や交通量の条件は整っていましたが、大規模な土地の確保が課題でした。県との農地の転用手続き協議を並行して行い、用地を確保した事例説明を受けました。町や議会において、情報管理を慎重に行い、問題意識を共有し、無事に大型商業施設（コストコ）の開店に至りました。

多くの企業が進出し、雇用の創出や税収も増え、地方交付税を受けてない県内唯一の町となっています。企業誘致には、アクセス性が高い立地、発信力の高い立地が条件との説明は、本町でも対応可能であり、今後の企業誘致施策の参考になりました。



あしががフラワーパーク（栃木県足利市）



足利市にある敷地面積100,000㎡の藤の花をメインにした通年開園の花の公園です。

4月中旬から5月中旬の1ヵ月間は「ふじのはな物語～大藤まつり～」を開催。10月下旬からはイルミネーション「光の花の庭」を開催し、夜景コンベンションビューローが認定する日本三大イルミネーションに選ばれています。

四季折々、数多くの花々で彩られており国内のみならず、海外からも多くの来園者が訪れていました。

昼と夜の花園の魅力づくり、四季を通じた集客の工夫などは、芝桜公園の魅力化検討の参考になるものでした。

議会改革の取り組みについて（神奈川県葉山町）

葉山町では、平成21年6月に議会基本条例を制定しています。議会基本条例の評価・検証については、条文に照らし条文に係る取り組みの振り返り・評価（段階評価）、条文の検証と改正等の必要性評価（管理評価）を行っています。

議会業務継続計画（BCP）の策定に至った経緯としては、議会の業務を継続するために迅速な対応が求められており、災害発生時に議会の機能と権能を維持するため、災害発生が予見される段階から、初期活動期、応急活動期、復旧活動期における行動基準を、災害時に分かりやすくまとめて、議事機関としての対応と、一住民としても対応が即座に図れることを目的として策定しています。



Voice 町民の声



自分の仕事について

とうかいりん かず あき
東海林 和 晃 さん
(セブンイレブン東藻琴店)
マネージャー

僕は自分の仕事に誇りを持っています。現在は接客業をしていますが、父が酪農の仕事をしていて、跡を継ごうと思っていた時期もあり、1年間酪農関係の仕事をしていました。ですが、父が自分の好きなことを仕事にしたいと助言してくれたこともあり、高校時代に働かせて貰っていた接客がメインの職場にもう一度戻って、改めて働かせて頂きました。

その後幾つか他の仕事もしましたが、今の仕事が一番自分に合っていると思い、現在も接客業をして

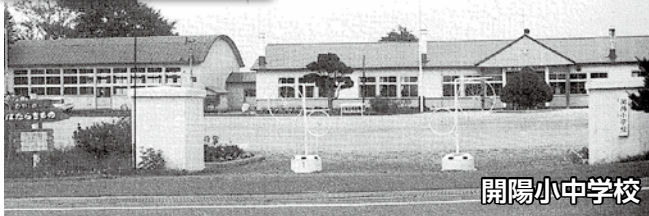
います。

接客業の一番の魅力は、お客様に感謝して頂ける場所だと思っています。一度来て頂いたお客様にまた来て頂けると、とても嬉しくやり甲斐を感じます。

今度札幌の方で接客コンテストの全道大会がありますので、全国大会に出場できるように頑張りたいと思っています。

僕は接客業を今後も続けていきたいと思っています。

なつかしの校舎



開陽小中学校

開陽小学校は、川村 滝三郎氏の農場事務所を仮校舎として大正6年東女満別尋常小学校所属奥女満別特別教授場として開校。開校当時の児童数は10名。教員は二階堂 与四郎氏でした。

大正9年地域住民に寄付を募り校舎を建設。その後、児童数の増加に伴い大正15年、昭和24年、昭和34年に校舎を新築、昭和41年には、屋内体育館が整備されました。

学校名は、大正12年に奥女満別尋常小学校となり、昭和11年の字名改称に伴い開陽尋常小学校、昭和16年開陽国民学校、昭和22年開陽小学校と改まり、昭和24年学制改革で中学校が併置され、開陽小中学校となりました。

中学校は、昭和48年に女満別中学校へ、小学校は、平成8年に女満別小学校へ統合となりました。小学校の卒業児童数は、640名。中学校の卒業生徒数は、309名でした。

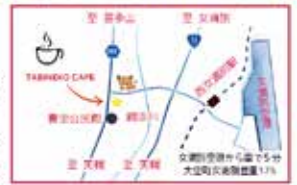
校歌の作詞は、芳賀 信夫氏、作曲は、山口 祐功氏です。歌詞に「風そよぐ丘よ から松の梢 行く雲仰ぐあなたに ほほえむ藻琴山 ああ身体はつらつ 腕たくましく 誠実のつばさ きたえる学舎 開陽 開陽 われらの母校」と詠われています。

(参考文献：女満別町史、女満別小史、記念郷土誌ふるさと開陽、開校記念誌学びの里)



TABINEKO CAFE (タビネコカフェ)
一畑の中の小さなカフェ

薪ストーブのあるリビングのような店内で温もりに包まれながら、自家製野菜ほか大地の恵みを活かしたホームメイドグルメと、ヘルシーなデザートをお楽しみください。野鳥が集うナチュラルガーデンは四季折々の花々で彩られ質素なひとときを貴方に彩ります。



モーニング 7:30~9:30 ※モーニングは冬季お休み中(4月再開)
ランチ 11:30~14:00 ・営業日：金・土・日・月
カフェ 14:00~16:00 ・定休日：火・水・木



※民間企業からの有料広告を掲載しています。

編集後記

民主主義の根幹である選挙運動において、基本的な人権を無視したような情報発信が社会問題になっていきます。

大空町議会広報編集においては、発行の基本姿勢の第1番目に「客観的かつ中立を順守し、偏見や特定の意見を掲載することなく、公正で公平な視点から情報提供する」としています。

読みやすく、わかりやすく、伝える紙面づくりを目指すと共にインターネット情報が瞬時に広がる今日、正確な情報を発信しなければならぬと確認し合っています。(鈴木)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

- 議長 原本哲己(発行責任者)
- 委員長 鈴木秀之
- 副委員長 上地史隆
- 委員 森賀祐司
- 委員 福田淳一
- 委員 大泉知功

今後ともよろしくお願いたします。



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより「おおぞら」
第75号

発行/大空町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)77-8106 FAX(0152)74-2191
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp

